

製品名: B3GT5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07408**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	B3GALT5
別名	
遺伝子 ID	10317.0
SwissProt ID	Q9Y2C3
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 50-130

背景

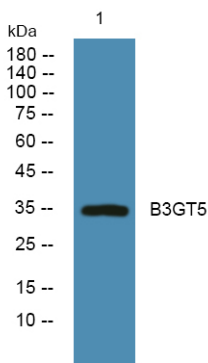
この遺伝子は膜結合型糖タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、消化管がんおよび膵臓がんにおいて増加する 1 型ルイス抗原を合成する可能性があります。この遺伝子には選択的スプライシングを受けた転写バリア

ントが観察されていますが、これらのバリエーションの一部については全長が未解明です。[RefSeq 提供、2013年7月],機能: コア3 O-結合型グリカン GlcNAc(beta1,3)GalNAc 構造を優先的に利用して、Gal を GlcNAc ベースの受容体に転移する反応を触媒します。糖脂質 LC3Cer を効率的な受容体として利用できます。 ,オンライン情報: β -1,3-ガラクトシルトランスフェラーゼ 5,オンライン情報: GlycoGene データベース,経路: タンパク質修飾;タンパク質グリコシル化。 ,類似性: グリコシルトランスフェラーゼ 31 ファミリーに属する。 ,組織特異性: 胃、空腸、結腸、膵臓、小腸、精巣、および消化管癌および膵臓癌細胞株で発現する。肺、肝臓、副腎、末梢血白血球ではほとんど検出されない。 ,

研究分野

スフィンゴ糖脂質合成;スフィンゴ糖脂質合成;

画像データ



Jarkat 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、B3GT5 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩